

平成29年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文1】

(法文学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は3ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。  
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

小論文1

次の文章は、日本のむらについて、従来の見方とは違う、もう一つ別の見方もあるということを強調するために論じられたものである。これを読んで、問1～2に答えよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

米山俊直「日本のむらの見方、聞き方、語り方」(古川彰・松田素二編『観光と環境の社会学』(新曜社) 所収) より (一部改変)。

問1 この文章全体で、筆者は、むらの過疎がどのように論じられるべきと主張しているか。筆者の言葉を用いながらまとめなさい。

問2 今日の日本の過疎問題として、どのようなものがあるか。そして、それに対して、どのような対応が考えられるか。問1でまとめた筆者の主張についてあなたがどのように考えるかをふまえながら、具体的に提示しなさい。